

検査内容変更のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

このたび、認定NPO法人 日本胃がん予知・診断・治療研究機構から出された「新しいABC分類 胃がんリスク層別化検査（ABC分類）2016年度改訂版 運用の手引き」に基づき、下記検査項目におきまして、検査内容を変更させていただきたく、ご案内いたします。

何卒ご了承賜りますようお願い申し上げます。

敬白

記

■ 変更実施日

2017年4月3日（月）ご依頼分より

■ 変更項目

項目コード	項目名称
6396 5	ABC 検診

● 変更内容

新たな運用手引きに基づき、検査項目名称・ヘリコバクターピロリIgG抗体の判定基準を変更させていただきます。ピロリ菌の除菌治療を受けた方は、除菌判定の結果に関わらず、ABC分類の判定対象とならないため、除菌者用の項目コードを新設し、E群（除菌群）としてご報告いたします。

* 下線部が、文章中の変更点になります

項目コード	検査項目	変更内容	新	現
6396 5	ABC 検診	項目名称	胃がんリスク層別化検査（ABC分類）	ABC 検診
		ヘリコバクターピロリ IgG抗体の判定基準	3U/mL 未満	10U/mL 未満
		備考	ペプシノゲンとヘリコバクターピロリ IgG 抗体を実施し、それぞれの検査結果と ABC 分類をご報告いたします。 <u>ピロリ菌の除菌治療を受けた方は、ABC分類の判定対象にはなりません。除菌判定の結果に関わらず、E群（除菌群）としてご報告いたします。除菌治療を受けた方は、胃がんリスク層別化検査（ABC分類）除菌あり（項目コードNo.：6243 2）にて、ご依頼ください。</u>	ペプシノゲンとヘリコバクターピロリ IgG 抗体を実施し、それぞれの検査結果と ABC 分類をご報告いたします。

A群からD群の説明文章について

C群およびD群の説明文章が変更になります。なお、A群、B群については変更ありません。

	新	現
A群	健康的な胃粘膜で、胃疾患の危険性は低いと考えられます。	健康的な胃粘膜で、胃疾患の危険性は低いと考えられます。
B群	消化性潰瘍に留意する必要があります。	消化性潰瘍に留意する必要があります。
C群	<u>萎縮の進んだ胃粘膜で、胃がんなどになりやすいタイプと考えられます。</u>	胃がんの高危険群と考えられます。
D群	<u>萎縮が非常に進んだ胃粘膜で、胃がんなどになりやすいタイプと考えられます。</u>	胃がんのより高危険群と考えられます。

ABC 検診の注意事項を下記に変更させていただきます。なお、1、4、5については変更ありません。

ABC 検診の注意事項

以下の場合には正しい結果が得られない場合があります。

	新	現
1	明らかな上部消化器症状のある方	明らかな上部消化器症状のある方
2	<u>上部消化管疾患治療中の方</u>	食道、胃、十二指腸疾患で治療中の方
3	<u>プロトンポンプ阻害剤服用中の方</u>	胃酸分泌抑制薬服用中もしくは2か月以内に服用していた方
4	胃切除をされた方	胃切除をされた方
5	腎不全の方	腎不全の方
6	<u>ピロリ菌の除菌治療を受けた方</u>	ヘリコバクター・ピロリ菌の除菌治療を受けた方

認定 NPO 法人日本胃がん予知・診断治療機構「新しい ABC 分類 胃がんリスク層別化検査 (ABC 分類) 2016 年度改訂版 運用の手引き」より

▼ 除菌治療を受けた方の場合の項目要綱

項目コード	検査項目	検体量 (mL)	容器	保存	所要日数	検査方法	実施料判断料
6243 2	胃がんリスク層別化検査 (ABC 分類) 除菌あり	血清 0.8	AOO (旧記号 X: ポリスピッツ)	冷蔵	2~4	ヘリコバクター・ピロリ IgG 抗体: EIA、ペプシノゲン: CLEIA	未収載